

2016 希望郷 いわて国体

第71回国民体育大会

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

熱戦繰り広げた4日間

高校野球（軟式）を開催

岩手県での開催は46年ぶりとなった国体が10月1日から開催されました。本町では、2日から高校野球（軟式）競技が4日間にわたり実施され、多くの人が高校球児の熱闘を観戦。球場では、多くの町民の方々がボランティアとして協力したほか、町内の児童と生徒による学校応援も行われ、国体を成功へと導きました。

全国から10校が出場

熱戦を繰り広げる

10月2日、町民総合運動公園野球場で開会式が行われ、岩手県の専修大学北上高等学校の佐藤峻選手が「一戦一戦全力でプレーすることを誓います」と宣誓し、4日間にわたる熱戦が幕を開けました。全国でも有数の選手のプレーは多くの人を魅了。



高らかに宣誓する佐藤選手

観戦した方は「選手達の姿に感動しました。自分の青春時代を思い出しました」と感想を話していました。

学校応援とお振る舞い

町全体でもおもてなし

熱い試合をさらに盛り上げたのは、町内の児童・生徒による学校応援でした。また、会場では、連日力キ汁や鮭のすり身汁が振る舞われ、プレー後の選手たちの空腹を満たしました。そのほかにも、受付や球場整備などに多くの町民の方々がボランティアとして協力。町全体での『おもてなし』が、今回の国体を成功に導く鍵となりました。

試合結果

◎ 1日目

・第1試合

柳井商工高等学校（山口県）

× 仙台商業高等学校（宮城県）

柳井商工	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4
仙台商業	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	5

延長11回

・第2試合

登別明日中等教育学校（北海道）

× 専修大学北上高等学校（岩手県）

登別明日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
専大北上	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3

延長13回

・第3試合

上田西高等学校（長野県）

× 桜丘高等学校（愛知県）

上田西	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2
桜丘高校	0	0	3	0	1	1	1	0	×	6		

◎ 2日目

・第1試合

作新学院高等学校（栃木県）

× 天理高等学校（奈良県）

作新学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
天理高校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2

延長14回

・第2試合

早稲田大学高等学院（東京都）

× 仙台商業高等学校（宮城県）

早稲田大	0	0	1	0	0	0	0	1	3	5		
仙台商業	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		

・第3試合

専修大学北上高等学校（岩手県）

× 文徳高等学校（熊本県）

専大北上	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3		
文徳高校	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		

延長10回

◎ 3日目

・準決勝第1試合

早稲田大学高等学院（東京都）

× 桜丘高等学校（愛知県）

早稲田大	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2		
桜丘高校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1		

・準決勝第2試合

天理高等学校（奈良県）

× 専修大学北上高等学校（岩手県）

天理高校	0	0	0	2	0	0	0	2	4	8		
専大北上	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2		

◎ 4日目

・決勝戦

天理高等学校（奈良県）

× 早稲田大学高等学院（東京都）

天理高校	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4		
早稲田大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

準優勝

早稲田大学高等学院



◎たてぬまい き 蓼沼大樹主将

選手権の決勝で負けた相手だったので、リベンジできず悔しい思いがありますが、全国で一番長く野球ができて幸せです。観客席からの応援や差し入れなどの温かいおもてなしに感謝の気持ちでいっぱいです。

◎で さきあきひと 出崎彰人監督

堅い守備とチームワークで勝利を目指すのがこのチームの特徴です。今大会は、その特徴が十分に発揮でき、準優勝という結果を残すことができました。小学生の応援やボランティアの方々のサポートがとてもありがたかったです。町ぐるみでのおもてなしに感謝します。

優勝

天理高等学校



◎ゆう じ 大瀬祐治主将

自分たちの持ち味である堅い守りで0点に抑えて優勝でき嬉しいです。決勝戦4回裏のノーアウト満塁のピンチを全員で乗り切れたことで勢いがついたと思います。山田に元気を届けるつもりが、皆さんの温かさから逆に元気をもらいました。

◎しゅん ち 木田準也監督

全員で意見を出し合い、共に助け合いながら戦うのがこのチームです。今回の大会も全員で戦えたから優勝できました。また、地元の方々のサポートもありがたかったです。グラウンドの整備もしっかりしていただいて、選手たちも試合に集中して臨めたと思います。

第3位

専修大学北上高等学校



◎しゅん 佐藤峻主将

2試合が延長戦で、厳しい大会でしたが『最後の1球まであきらめない心』で乗り切ることができました。強敵ばかりでしたが、チームメイトと、暑い中応援してくれた町の皆さんのおかげで3位という結果を残せました。

◎ひろ 菅野裕二監督

今回の国体は充実していて、選手たちと長く試合ができて良かったです。延長戦が続き、消耗しているなかでも良く戦ってくれた。ピッチャーの及川丞君も気持ちで投げていたと思います。いつも以上の力を出せたのは球場からの声援があったからです。応援ありがとうございました。

第3位

桜丘高等学校



◎りょう た 中村亮太主将

優勝を目標にしていたので、悔しい結果となりましたが、国体という舞台で長く試合ができて良かったです。台風の被害を心配していましたが、皆さんがやさしく迎えてくれて感動しました。ありがとうございました。

◎ゆきひと 加藤幸人監督

このチームの長所は自分たちで考えて試合を展開できるところです。今回の大会でも発揮できていたと思います。今回負けてしまいましたが、生徒たちにはこの3年間の経験を生かしてほしいと思っています。また、山田町の方々の温かい歓迎に感謝します。

4日間の熱闘に沸いた球場の様子を写真で紹介します。



白球追いかける全力プレー



喜びのハイタッチ



会場が沸いたホームスチール



一生懸命応援するよ



会場では山田の幸をお振る舞い



多くの人が熱戦を見届けました



勝つぞ！



クロスプレーの判定は...



出塁目指して疾走



試合を盛り上げた吹奏楽



学校応援は選手の力となりました



優勝の喜びを分かち合う天理ナイン

